

# 校長便り 怒濤 高

県立糸満高校

平成29年3月24日(金)

校長 辻上 弘子

第 22 号

## 「平成28年度 各自それぞれ 良く努めました」

平成28年度がそろそろ終わりとなります。揃っての修了式を迎えられたことは、大変嬉しいことです。振り返ってみれば、4月からあっという間の1年間であったように思います。生徒たちは「学校は楽しい」と言いながらも「自学自習や家庭学習の時間は、やっぱり高校生としては不足だ。」という認識を持っております。ひとりの人が本当の意味で、部活を楽しみ勉強に励み 将来の道筋を見つける、そんな高校生活を送ることができる、「もっとやれるかも。」と彼らが感じているのがわかります。修了式では、気持ちのこもったとても嬉しい手紙でしたから、校長先生へと言う書き出しで始まる1年間の感謝と来年度の決意表明を込めた手紙とオリジナル短歌（いずれも国語授業で実施）を紹介してみました。そのあと1週間前のF&A セミナーで話をした『ルビコン川を渡る覚悟で』にも触れ、自分の将来像を思い描きながら、今自分が何を注視しているかを意識しながら日々を過ごして欲しいと続けました。集会時の聞く態度が素晴らしく、毎回ながら 保護者の皆さまにご覧頂きたいと思うのです。楽しいばかりでなく彼らなりの苦労も経験した1年間だったでしょうが、それぞれに、自分で考え自分で行動しながら、見事に進化して参りました。どうぞご家庭でもお子さまの1年間の成長を喜び、ねぎらって頂けたらと思います。

## 1年間ありがとうございました ベネッセ進路学習会には多数のご参加 多謝

続々とおいで下さる保護者の皆さまをお迎えしながら、進路への関心度が高いのだと再確認致しました。保護者の皆さまへの質の高い情報提供を継続しながら、生徒の希望を叶えていかねばと強く決意しました。春休みとなりますが、子どもらがわくわく感いっぱいの新学期を迎えられるよう 事件事故に巻き込まれる事のないように、ご家庭での見守りも宜しくお願い致します。